

あうとのみあ

地域・地元根ざす
公立中高一貫校受検
中学受験・高校受験の
So You! 早友学院

あうとのみあ とはギリシャ語で自立を意味し、早友学院の指導理念を象徴することばです。

Enrich yourselves! - あなた自身を豊かにせよ -

『本を読めば毎日が楽しくなる!』
これこそ読書の魅力でしょう。というの
も、読書の習慣を身につけた子どもとそ
うでない子どもでは日々の暮らしのなか
でのワクワク感が大きく異なるからです。
子ども達にとっての生活の場は、大人
に比べれば狭い領域です。しかし本を読
めば、自分の知らなかった場所や自分の
知らない世界に、あたかも自ら足を踏み
入れたような感動に出会うことができま
す。また、童話や SF 小説を読めば、想
像の翼を思う存分羽ばたかせて、空想の
世界を飛び回ることできます。しかも、
読書は日本語の読み書きのみならず、感
ずる心もおおいに刺激しますから、日常
生活でも、自分を取り囲む人々の喜怒哀
楽を理解できるようになることではし
ょう。また、自分の言いたいことを作文す
ることだって得意になります。こんな具
合に、本を読めば、その人の心を育てる
栄養をいろいろと体内に取り入れて、さ
まざまな創作活動に応用することができる
のです。

18 世紀に活躍したフランスの政治家
フランソワ・ピエール・ギゾーは、フラ
ンス国民に対して教育の普及や教育法の
改革を行ない、文相時代には歴史、科学
研究を推進し、歴史的建造物の保護に力
を入れました。政治や経済が安定せず、
内戦で世の中がすすんでいた時期でも
あったので、『金銭的に豊かになっても、
精神的に貧困ではしかたがない』と考
え、Enrich yourselves (Vous-memes
enrichir) - あなた自身を豊かにしなさい
- と国民に呼びかけました。今や日本の
社会も混沌とし、未来を見失いかねない
若者達が増えています。しかし多くの児
童・生徒・青年が読書の面白さに気付



ば、心は日増しに豊かになり、教育制度
を無暗にいじらなくても、日本の教育環
境は大きく変わるかもしれません。

この夏休みに学院生みんな、読書の
体験を楽しみましょう。もちろん読書は
受験学習にもおおいに役立ちます。

2023 夏期講習

期間：7/21～8/31
※講習の日程は、各教室で異なる場合があります。

コース	学年	科目
小3脳育授業	小3	脳育授業
公立中高一貫校受検	小4	思考する算数・科学系、読解作文・社会系 サイエンス入門
	小5	思考する算数、読解作文 サイエンス 算数特訓
	小6	思考する算数、読解作文 算数特訓
私立・国立中学受験	小4	算、国、理、社
	小5	算、国、理、社 算数特訓
	小6	算、国、理、社 がむしゃら勉強会
区立進学	小4	算、国
	小5	算、国
	小6	算、国
高校受験	中1・2	英、数、国、理、社 英、数、国
		英、数、国、理、社 英、数、国
	中3	英、数、国
		英数特訓

小6公開模試 小6首都圏模試 中3Vもぎにむけて

受験学年の模擬試験が始まっています。4月には私立・国立中学受験コースの合不合格判定テスト・首都圏模試、5月には公立中高一貫校受験コースの早友学院主催の公開模試、7月（6月）には中3高校受験コースのVもぎが始まり、入試に向けた準備が本格的に始まります。

さて、模擬試験を受けることにどのような意味があるのでしょうか。例えばスポーツの「練習試合」は、試合形式で日頃の成果を試す「真剣勝負」でもあります。この真剣さが重要です。模擬試験でも同じです。必死に取り組むことで大きな効果を得られるのです。

しかし、せっかく模試を受験しても、成績に一喜一憂するだけで終わってしまっただけでは意味がありません。成績が良いにこしたことはありませんが、模試の最も重要なことは、今後の勉強にどう役立てるかということです。今の自分の実力を知り、何が足りなかったのかを分析し

服することにより、学力を上げる機会にすることが大切です。

では模試の後、何をしなければいけないのでしょうか。まず解き直しです。間違えた問題・解けなかった問題は、どこをどう間違えたのか、どのように解けばよくなったのかをしっかりと確認しましょう。そうすることが、自分の弱点を無くしていくためのしほり込んだ勉強になるはずです。模試での間違いや失敗は学力アップのチャンスと考えましょう。本番は一つの教科で合否が決まるのではなく、総合点で判定されます。必要なのは総合力です。弱点補強にこそ、総合力向上の鍵があるのです。

また解き直しのポイントは、試験終了後に配られる解答・講評をきちんと理解することにあります。模試の緊張がさめないうちに自宅に直行して、徹底的に復習することで、模試は生きてきます。そして解説を何度読んでも理解できない部分や、解答だけでは解けなかった問題には印を付け、翌日には教室で先生たちに質問し、疑問点を解決しておきましょう。

では解き直しが終わった模試の問題をどうするか？ 試験当日だけの復習で終わらせてしまうのではなく、模試の問題・解説は、いつでも使える状態にしておいてください。捨ててしまうなどというのは論外です。種類ごとにファイ

ルし、何回でも復習できるようにしておきましょう。

何度も解き直しをすることには意味がありません。模試直後に徹底的に復習しても、「わかったつもり」になっただけで、身に付いた理解になっていない場合もあります。特に、夏休み前の今の段階では、自信を持って理解したと言い切るのは難しいと思います。しかし、I期を終了し夏期講習を終えた段階で復習をしてみれば、かなりの部分を「わかって解く」ことができるようになっていくはずです。またそれが、「自分で解くことができる」という自信にもなるでしょう。そこまで復習して使い込んでこそ、模試を受けたといえるのです。

もう一つ、自分のこれまでの答案を少し見直してみてください。「読んでもらえる字」になっていますか。「意味の通る文・文章」になっていますか。自分にしかわからないものになっていませんか？ 提出物であることを意識した答案にすることも大事ですよ。

最後に、学院では模試ごとに父母面談や生徒面談を実施しています。面談を通じ、今後の学習法や指針を具体的にアドバイスしていく予定です。

(東陽教室長 加藤 将茂)

父母学校こぼれ話

6月3日(土)に、両国高校附属中学校校長金田先生を、6月10日(土)には小石川中等教育学校校長鳥屋尾先生、白鷗高校附属中学校校長池戸先生、両国高校附属中学校校長金田先生のお三方をお招きして父母学校を開催いたしました。ご参加いただいた方はお忙しい中足をお運びいただき誠にありがとうございました。今回ご参加いただけなかった方は残念ではありましたが、秋にもこのような企画を準備しておりますので、そちらにはぜひご参加ください。

今回の企画を実現するに当たり、各学校との折衝等担当した関係で、直接校長先生とのやり取りで得た情報を、この場を借りましてお伝えしたいと思います。

今年は多かった入学辞退者！

これは一般に公表されていないデータですが、小石川では29名の辞退、両国では17名の辞退があったそうです。当然その分補欠の繰り上げがあるのですが、繰り上げについては男女合同の順位になるので、例年ですと女子の比率が高くなるのですが、今年は男子の比率が若干高かったようです。両国では20名弱の繰り上げ候補者（補欠）を出していたのですが、ギリギリの数まで繰り上げが進んだので、候補者数を超えたらどうしようと焦ったそうです。両国では

どこの私立に流れたのか、気にされているようで調査を行っているようです（受験生に直接問い合わせることもできず、模試の会社からもデータ提供は受けていないようです）。

早友の模試が気になる？ 国語の先生が読んでいる書籍の数は年に300冊以上！

適性検査の作成は大変な作業です。見出しにも挙げたように国語の先生は年に300冊以上の本を読んでいるそうです。これは見栄を張った数字ではなく、電車で校長先生がその先生に出会うと必ずと言っていいほど、本を読んでいるそうです。父母学校（説明会）での説明にありましたが、公募制で集まった情熱ある先生方が取り組んでいる姿勢が表れています。受験生（受験生）も見習ってほしいですね。

適性ⅡやⅢでも、会話をもとに問題作成をする形を取ることが多いですが、その中に条件を織り込む必要があるのも、回りくどい表現にならざるをえないとのこと。受験生もそれをしっかり意識して、条件を読み取り、それに合った解答をつくることを心がけてほしいと思います。また、塾がどのように問題を分析し、どのような対策をしているのかが気になるようで、早友の模試の問題をくれないかと言われました。私の一存ではお答えしかねる内容でした

ので、ちょっと躊躇しておりますと、模試の問題に引きずられるといけないので、やはり結構ですとのことでした。

白鷗校長はラグーマン

白鷗の校長先生は、今年着任されましたが、都立高校の校長を歴任されており、公立一貫では南多摩の副校長の経験もある方です。今回お招きした校長先生方はどの先生も背が高いのですが、胸板の厚い池戸先生は知る人ぞ知るラグーマンです。大学でも関東大学リーグの名門国立大のチームの主将。現在も高校体育連盟のラグビーフットボール専門部部長をはじめ、様々な肩書をお持ちの方です。今回の父母学校の前後にも高校ラグビーの開会式にご参加なさっていたそうです。

都立高校とりわけ公立一貫でのラグビー部は、人が集まらない（一貫校はクラス数が少ない）ため、白鷗でのラグビー部の創立はないそうです（小石川も昔はラグビーが強かったがなくなってしまった）。ラグビーが目当ての人は残念でした。

白鷗は建物の建て直しをしている点も、弱点でもあるが、強みにもなるとのことでした。

(新小岩教室長 依藤 聡)

合格体験記

M・K

私が早友学院に入ったのは、5年生の初めでした。最初は週二回しか授業がなかったため、その分宿題も少なく、終わらせるだけであまりもっとやろうという気にはなっていませんでした。

しかし、6年の第一回公開模試で自分でもびっくりするぐらい悪い点数をとってしまいました。このままではいけないと思い、勉強時間を増やし、授業の後にはわからなかったところを聞くなど、今までより本気で取り組んでみました。すると、第二回公開模試では第一回の点数よりも、二倍以上の点数をとることができました。

私が合格できたのは、この悪い点数をとった後の追い上げと、かぜをひかず、毎回塾に行ったことだと思います。この二つは、受験においてとても大事な役目を果たしてくれたと思います。新6年生、がんばれ！

H・R

私は受験にあたり、学んだことが二つあります。ありきたりかもしれませんが、努力は絶対におこなわないで続けることと、自分を信じて最後まであきらめないということです。最後の最後まで、道が開けることがあるからです。私は特に、作文が苦手な分野でもあり模試などでも作文が足を引っぱって全体の得点が少なくなってしまうことがよくありました。また、受験を一月後にひかえていてもなかなか思うような点を作文でとれず、不安な気持ちにもなりました。しかし、途中でやめたり手を抜いたりせずに自分を信じ、努力を続けた結果段々と点数を上げることができました。そして、点数の向上を感じても作文からは手を抜かず練習を継続したことで受験当日もある程度は点を取ることができました。努力が実らないと感じても、最後の方で実力を大きくのばすこともあります。自分を信じて真剣に努力を続けることが受験合格までの一番の近道です。

次に、決してあきらめないことは受験本番であってもとても大切だということです。今年は適性Ⅲが個人的にとっても難しく、一通りやっても全くわかりませんでした。あせって、泣きながらも用紙をにらんでいるといくつか問題の答えを出すことができました。できないから思考を止めたりせず、あきらめないで自分ではできると信じ自分の力を最後まで出しきることは、まず意識しておくことが大切だと学びました。努力とあきらめない心は、ふつう過ぎてありきたりであると感じているかもしれませんが、この二つが一番の基礎で、一番の力になり、かつ、実は一番大変なことです。しかし、これができれば合格という道は必ず開けると今は思えます。

私は早友学院と受験勉強によって、学力がただでなく人として必要な強さなどを学べました。成長を実感しています。本当にありがとうございました。

H・R保護者

娘は勉強以外にやりたいことも多く、家庭学習に重きを

置きつつ五、六年生で徐々に早友学院でのご指導にシフトしていきました。作文と読解は家庭でこなすのが難しく、模試でもなかなか結果に結びつかなかったのですが、早友の先生のアドバイスで受験間近に手応えを感じられるようになりました。

振り返ると、作文や読解で多面的なものの見方ができるようになるのと連動して、算数分野も解く力やスピードが上がっていったように思います。それが自信になったのか六年の夏以降、勉強面でも生活面でも主体的な考えや行動ができるようになりました。またこれまで自分で壁を作っていた学校での友達関係までも、広く信頼し合える関係を築けるようになったことは何よりの実りでした。

受験当日、適Ⅲで試験中に泣いてしまった、でも持ち直した、と聞いた時は娘自身の成長を実感し、合格不合格に関係なくこれで良かったのだと思えました。学力のみならず内面においても娘を教える導いて下さった早友学院の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。これまでお世話になりました。ありがとうございます。

S・A

私は、元々早友学院に入ってからも受験を受けるつもりはありませんでした。ですが、5年生になってから、高校受験も受けずに済み、勉強もよく出来るようになるので、せっかくだからと、受験を始めました。私は、成績があまり良くなく、人一倍勉強しなければいけません。だから、一日三時間以上勉強していました。そして、私の弱点を探し、克服していきました。

特に苦手だった作文も、メモを作ったり、字をキレイにする練習をしたりしていくうちに模試の点数も上がり、成績も上がりました。そして私は受験に合格しました。受験をする2日前に私立を受けた時に自分のダメな所を見つけることが出来たからだだと思います。

T・R

今までをふり返って、一言ではまとめ切れないような、そんな日々でした。5年生になってから塾に行き始め、学校で習わないようなことがたくさん出てきてとても大変だったことを覚えています。お父さんに教えてもらったりしましたが、「めんどくさい」、「もうやりたくない」と感じるが多くなりました。そんなとき、塾の先生からのアドバイスを聞いて、また勉強にはげむことができました。テストでは点数が上がっていき、嬉しかったです。

6年生になってからは塾にいる時間が増え、家での勉強時間も増えましたが、テストや模試の成績はあまり良くなり、もう受からないんじゃないかと不安でいっぱいになるときもありました。でも、ここであきらめてしまったら、今までで努力が水のあわになってしまし、塾の先生や家族が協力してくれたことも全て無駄になってしまうと思いました。そして、成績が落ちていた模試も最後まであきらめずにやって、成績を上げることができました。入試では、自分の心を落ちつかせて全力で臨み、受けた学校全てに合格することができました。

両国に受かったと分かったしゅん間はお母さんと抱き合い、嬉しさをかみしめました。今回の中学受験では、貴重な体験をすることができました。そして、第一志望の中学

校に合格できたのは、塾の先生や家族など、色々な人の支えがあったからこそできたことです。私のことを支えてくれた人達には本当に感謝しています。

N・C

私が都立中学に合格することができたのは途中で諦めずに勉強を続けたからだと思います。小学校6年生の夏、夏の特訓がありました。しかし、私は新型コロナウイルスにかかってしまい、受けることができませんでした。家でも勉強はしていましたが、他の人たちはもっと勉強しているんだと思い、大丈夫だろうかという不安がありました。

秋になり、受験が近づいて来ました。夏の勉強を取り戻すために模擬試験の復習を二、三回、受験校の過去問を繰り返し解きました。受験前の三週間は学校を休み、家や早友学院の自習室で勉強に励みました。ある日、いつものように過去問を解いていると、点数が一回目に解いた時よりも悪いことがありました。結果を見た際はとても落ち込みました。

しかし両親に次良い結果が得られれば良いと言われ、立ち直ることができ、勉強を続けることができました。私はこの経験を入学試験だけでなく、入学してからも忘れずに様々なことに全力で取り組んでいきたいです。

K・M

私は今年度、東京都立両国高等学校附属中学校に合格することができました。私が合格することができたのは、父と母、早友学院の先生方の支えのおかげだと思います。私が早友に通い始めたのは4年生の冬期講習からです。和気あいあいとした雰囲気が好きで、とても楽しく通っていました。

5年生の始めのころは、テストの結果も良く、あまり勉強をしていませんでしたが、5年生の終りごろからテストの結果が少し悪くなっていき、少しあせりが生まれました。そこから、塾の宿題だけでなく問題集を積極的にやり、6年生の夏にはテストで良い成績をとれて、「このまま受験までかばるぞ」と思っていました。

しかし、ここでまた私の前に壁が立ちました。最後の模試の結果です。直前に体調を崩していたのもあり、塾も先生も大丈夫だと言ってくれましたが、自分では納得のいかない結果でした。そこまであまり受験に不安を感じていませんでしたが、模試の結果を受けて、受験前二週間はたくさん勉強しました。そしてやって来た受験当日、適Ⅰと適Ⅱはよく解けたのですが、適Ⅲが難しく、「もうダメだ」と感じました。さらに、試験中、持っていた合格消しゴムが落ち、悲しくなりました。

その後の六日間は地獄のようでした。落ちたときのことを考え、とても不安でした。合格発表の日、受かっていたと父から聞き、とても嬉しくて、ついにあの学校に通えるのだとわくわくしました。私の母は、合格して浮かれている私に、「合格がゴールじゃない」と言ってくれました。確かに、合格した学校でどれだけ成長できるかがとても大切だと思います。だから、中学では、色々なことにチャレンジして経験を増やし、充実した学校生活にしていきたいと思っています。

中学生テスト対策について。自修会活用、内申書アップに塾を利用しよう！

早友学院では、各生徒の志望校合格に向けた指導をおこなっています。志望校合格を勝ち取るためには、高い内申点を取ることで、基礎問題から応用問題まで対応できる学力を身につけることが大事になります。充実した中学校生活を送りながら、受験に必要な学力も同時に培っていかねばいけないということです。

高い内申点を取るためには、①定期テストや各教科の小テストで高得点を取ること（テスト終了後は必ず解き直しをすること）②課題（提出物）を期限内に提出すること③授業態度（授業をしっかり聞く、積極的に発表する姿勢）が特に重要になります。

定期テストで高得点を取るためには、テスト前の計画的な学習が重要になります。早友学院では、自分で計画的に学習する環境を「自修会」という名で提供しております。ご自宅ではテレビやゲームなどの様々な誘惑があり

ますから、自修会をどんどん活用してください。自修会では誘惑も無く、周りも勉強している人ばかりなので、「自分も頑張ろう」という気持ちになれると思います。

自修会を利用する際は、学習計画表・チェックリストを用いて、やらなければならないことを全て実行するように、具体的な計画を立て、教科書・ワーク・配られたプリントに取り組みしましょう。例えば、計画では〇月〇日は教科書の〇ページから〇ページというように具体的に学習計画を立て、チェックリストで目標回数が達成できたかどうかチェックするという具合でおこなってください。テスト範囲は最低3回は解きましょう。教科書がどれだけ読み込めたか、ということも成績の分かれ目です。隅から隅まで徹底的に読み込んでいきましょう。

定期テストに出題される内容は、授業で習ったことが中心です。先生が授業中、特に

強調したところや繰り返し説明したところ、板書でチョークの色を変えたり、線を引いたり、○で囲んだりしたところは（ノートに写すときも同じように、色を変えたりマーカーで囲んでおくこと）授業後に必ず復習をおこないましょう。また、テスト前に先生がもう一度説明したところも重要です。テストに出やすいところなので、注意しておきましょう。また、ワークなどの課題は学習内容の確認作業の一貫です。自らの知識の確認という意味でしっかり取り組んでください。現在習っていることが高校入試に直結しているという意識を持ち、学習に取り組んでください。

「やらされている」という受身の姿勢から「自ら進んで行う」という自立の姿勢を自修会で養い、実力を付け、志望校合格を勝ち取りましょう。ご家庭の皆様におかれましても、ご協力お願いいたします。

（亀戸教室長 逆井 茂）